



さかた かつあき

坂田勝亮

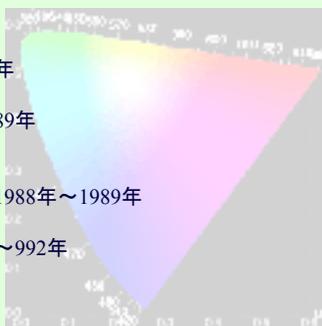
Katsuaki Sakata

教授 sakata@joshibi.ac.jp

女子美術大学大学院 美術研究科 博士後期課程 美術専攻 (芸術文化)
女子美術大学大学院 美術研究科 修士課程 芸術文化専攻 (色彩学)
女子美術大学 芸術学部 芸術学科

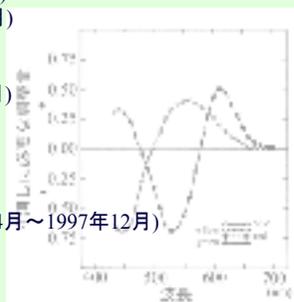
色彩計画, デザイン, 商品開発等

オフィスにあったコンピュータの色彩計画, (株)日本電気, 1987年
みなと色彩計画, 横浜市港湾局, 1987年~1989年
自動車内インテリアの高級感, 関東自動車工業(株), 1987年~1989年
オフィスの色彩計画, (株)竹中工務店, 1987年~1989年
ガラス建材の色彩計画, 旭硝子(株), 1987年~1990年
地域に則した店舗インテリアの色彩計画, (株)リンガーハット, 1988年~1989年
首都高色彩計画, 首都高速道路公団, 1988年~1991年
カッティングシートの色彩計画, (株)平野デザイン設計, 1988年~1992年
CIカラー計画, (株)イトーキ, 1989年
プリント色の研究, 日本コダック(株), 1989年
塗装色の見えに関する研究, 関西ペイント(株), 1989年~1995年
タイル仕上げ面の高品位感, (株)INAX, 1990年
感性化研究のための色彩, 富士通(株), 1991年
未来の新宿色彩計画, 大成建設(株), 1992年
リバーホーロー色彩計画, 川鉄金属工業(株), 1993年
原子力発電所の色彩環境, 関西電力(株), 1994年
出光ホームガス色彩計画, 大日本印刷(株), 1994年
文具の色彩計画, (株)キングジム, 1994年
浄水場色彩計画, 秋田市, 1998年



学会および社会における活動等

ISO(国際標準化機構) TC187色表示国内委員会研究分科会委員(1988年4月~1990年3月)
ネオンの光の見え方に関する特別研究委員会委員(1989年4月~1990年3月)
ISO(国際標準化機構) TC187色表示国内委員会委員(1990年4月~1998年3月)
小型船舶用救命胴衣安全基準検討委員会(1991年4月~1993年3月)
日本色彩学会関東支部幹事(1991年5月~1992年4月)
ISO(国際標準化機構) TC187 Colour notations委員(1992年12月~1997年12月)
日本色彩学会理事(1992年5月~1994年4月)
日本視覚学会世話人(1992年4月~現在)
AIC(国際色彩学会) "Visual illusion and effects"委員(1993年4月~現在)
日本色彩学会評議員(1994年5月~1996年4月)
CIE(国際照明委員会) TC1-31 "Color notation and Color order system"(1994年4月~1997年12月)
JIS(日本工業規格)国際整合化委員(1996年4月~1998年3月)
秋田市景観委員(1996年4月~2000年3月)
AIC(国際色彩学会) Color97 プログラム委員(1996年5月~1997年4月)
AIC(国際色彩学会) "Visual illusion and effects? Sub Group" Chairman(1997年6月~2001年9月)
日本色彩学会理事(1998年5月~2000年4月)
日本色彩学会理事(再任) (2000年5月~2002年4月)
日本色彩学会編集委員(2002年5月~2004年4月)
日本色彩学会評議員(2002年5月~現在)



東京生

1982年横浜国立大学教育学部心理学科卒業。

1985年早稲田大学大学院文学研究科博士前期課程心理学専攻修了。
財団法人日本色彩研究所, 秋田公立美術工芸短期大学を経て現職。
専門は視覚心理学, 色彩学。



研究論文

継時提示された視覚刺激の統合(単著), 早稲田心理學年報, 第18巻, 19-26, 1986.
都市景観における光源色の評価 -ネオン広告における色彩感情空間の分析-(主著), 色彩研究 Vol.37 No.1, 2-7, 1991.
Color order systemと文化(単著), カラーエイジ 第2巻 第4号, 63-67, 1991.
日本人の色彩嗜好 一過去5年間にみたブラックに対する嗜好の変遷-(連名), 色彩研究 Vol.38 No.2, 17-23, 1991.
光源色での白色度の研究(連名), 照明学会誌 第77巻 第2号, 9-15, 1993.
Natural Color System - (NCS)の原理的背景-(単著), 色彩研究 第40巻 第1号, 10-16, 1993.
色を表す新しい方法(単著), カラーエイジ第5巻 第2号, 1994.
景観としてのネオンの評価(単著), 照明学会誌, Vol.78, No.11, 26-29, 1994.
NCS (Natural Color System)に関するスウェーデン規格(文責), 日本色彩学会誌第17巻 第3号, 209-217, 1994.
セラミックタイルの視覚的観点からの印象に関する研究(連名), 日本建築学会構造系論文集 第482号, 9-15, 1996.
マンセルシステムとNCSの色相環の比較(連名), 日本色彩学会誌, Vol.20, No.3, 124-130, 1996.
最近の心理測定法の動向(単著), 秋田公立美術工芸短期大学紀要, 創刊号, 21-26, 1996.
NCS色表記の確認実験(共著), 日本色彩学会誌 Vol.21 No.3, 134-142, 1997.
Illusionの現象的分類(単著), 秋田公立美術工芸短期大学紀要, Vol.2, 37-40, 1997.
心理原色と色表記(単著), メディア学会技術報告, I.22, No.66, 1-5, 1998.
網膜残像の時間的特性(単著), 秋田公立美術工芸短期大学紀要第3号, 37-42, 1998.
色はなぜ見えるのか : 3色説と反対色説の展開(単著), 脳の科学, Vol.23, No.12, 1105-1109, 2001.

著書

1986年消費者の色彩嗜好調査報告書, 色彩情報48, 49合併号(財団法人日本色彩研究所), 1987.
1987年消費者の色彩嗜好調査報告書, 色彩情報50, 51合併号(財団法人日本色彩研究所), 1988.
HOW CAN WE KNOW THE VERIDICAL VELOCITY OF A MOVING OBJECT?, EYE MOVEMENT RESEARCH, C., J. Hogrefe N.Y., 320-336, 1988.
1988年消費者の色彩嗜好調査報告書, 色彩情報52, 53合併号(財団法人日本色彩研究所), 1989.
心理測定法への招待, 一測定からみた心理学入門-, 新心理学ライブラリ13 サイエンス社, 第1章, 第9章, 1990.
1989年消費者の色彩嗜好調査報告書, 色彩情報54, 55合併号(財団法人日本色彩研究所), 1990.
1990年消費者の色彩嗜好調査報告書, 色彩情報56, 57合併号(財団法人日本色彩研究所), 1991.
1991年消費者の色彩嗜好調査報告書, 色彩情報58, 59合併号(財団法人日本色彩研究所), 1992.
1992年消費者の色彩嗜好調査報告書, 色彩情報60, 61合併号(財団法人日本色彩研究所), 1993.
色彩ワンポイント 第1巻, 第5巻, 第9巻, 日本規格協会, 1993.
カラーエイジMOOK -これだけは知っておきたい「実用色彩学」- 基礎の基礎, オプトロニクス社, 1994.
色彩科学ハンドブック第5章, 2.7 NCS, 新編色彩科学ハンドブック[第2版], 157-162, 東京大学出版会, 1998.
心理学と社会 43人が語る「心理学と社会」, 第1巻 9章, プレイン出版, 1999.
脳科学大事典 II -2-2 視覚認知学習, 朝倉書店, 2000.
明るい光, 見えない光, 日本色彩学会誌, Vol.24, No.3, 215, 2000.
合図する赤・警告する赤, 東洋インキNews, No.78, 22-25, 2002.
色彩用語辞典, 東京大学出版会, 2002.
新・心理学の基礎知識, 有斐閣, 2002.